



日本地域・支援工学・教育
合同理学療法学会学術大2020

2025年に向けた理学療法の展望 ～未来に紡ぐ理学療法の連携～

2020年11月7日・8日

大会長 井上和久 (公立大学法人 埼玉県立大学)

脳卒中者の自宅退院後の 社会参加を促す介入

-介護サービス卒業と自律性向上を目指した
環境因子へのアプローチ-

はじめに

- 脳卒中後は片麻痺や失語などの後遺症が残ることがあり、ADLの自立や社会参加の妨げとなるケースが多い。

目的

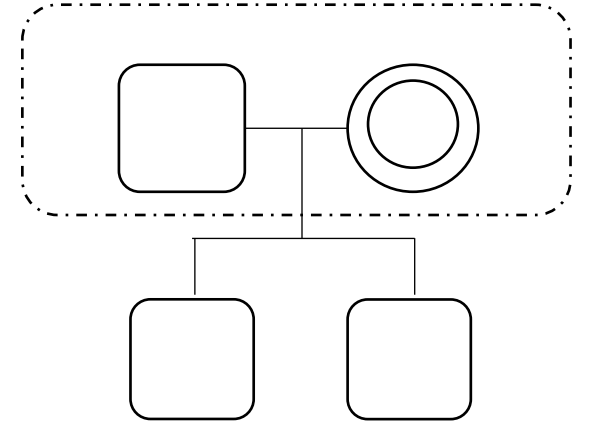
- 脳出血後に重度の右片麻痺が残存した症例について、介護保険制度を利用した環境因子へのアプローチにより、ADL・IADLの自立と行動範囲の拡大につなげることができたので報告する。
(本学会での発表については、本人・家族の同意を得ている)

症例紹介

- 70歳代後半女性 専業主婦
発症時は夫と二人暮らし（離れて暮らす息子二人）
- 趣味：庭の手入れ・施設などでのボランティア活動
旅行・サークル活動など

現病歴

- 約1年前、庭の草むしりをしている時に倒れ救急搬送。左被殻 + 視床出血と診断され急性期病院に入院。2日間意識不明であった。
- 発症1週間後には意識障害が改善したが、Br.stageは右Ⅰ-Ⅰ-Ⅰ、右上下肢重度感覚障害あり、失語あり発話あるも意味不明。
基本動作、ADL全介助
- 徐々に回復し、回復期病院、介護老人保健施設を経て、発症9ヶ月後に自宅退院となった。



退所時（発症後9ヶ月）

- 要介護 4
- Br.stage右 II - I - III 感覚障害・失語は軽度改善するも残存
左上下肢筋力MMT4-5 握力13.5kg
- 起き上がり・座位保持：自立 立位保持：手すり使用で見守り
- FIM（介護老人保健施設）：移乗5 移動車いす（左上下肢使用）で4
食事5（軟食）整容5 トイレ動作2 更衣上衣5下衣3
清拭1 排泄コントロール6
- 自室（4人部屋）のベッドサイドに車いす座位でいることが多く
ホールには出たがらない

発症前の暮らしと環境



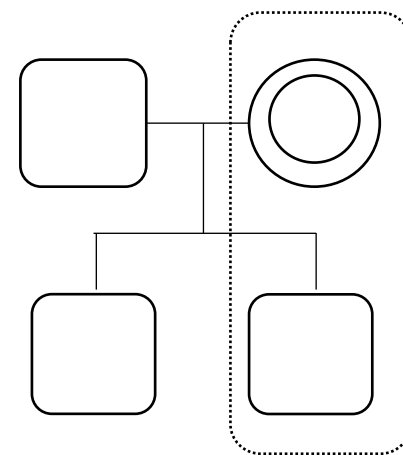
- ・ 夫（80歳）と二人暮らし
- ・ 家事はすべて本人
- ・ 主に真ん中の棟で生活
昔ながらの家で
上がりかまちなど段差多い
- ・ 夫は釣りや畑仕事
本人は趣味の庭仕事などを
それぞれ楽しんでいた
- ・ 庭には砂利
- ・ 買い物：スーパーまで
夫か本人の運転する車で15分
（車がないと生活できない）
- ・ 自宅は小高い丘の上であり
周辺は坂道が多い

環境へのアプローチ

- 退所1ヶ月前：理学療法士である次男が実家で同居することとなり、自宅
でなるべく一人で過ごせるよう環境を整備
(夫は妻の入院後、急激に体力が衰え特別養護老人ホーム入所)
- 退所2日前：サービス担当者会議開催（自宅にて本人も同席）
退院後のサービス・導入する福祉用具を決定し
サービス提供者で退院後の生活イメージを共有
→訪問介護（週3）デイケア（週3）福祉用具レンタル

高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019

多職種介入は、社会活動の改善、（中略）に関して効果が期待でき、行うことを提案する。（推奨の強さ：弱 エビデンスの確信性：中）



発症後の暮らしと環境

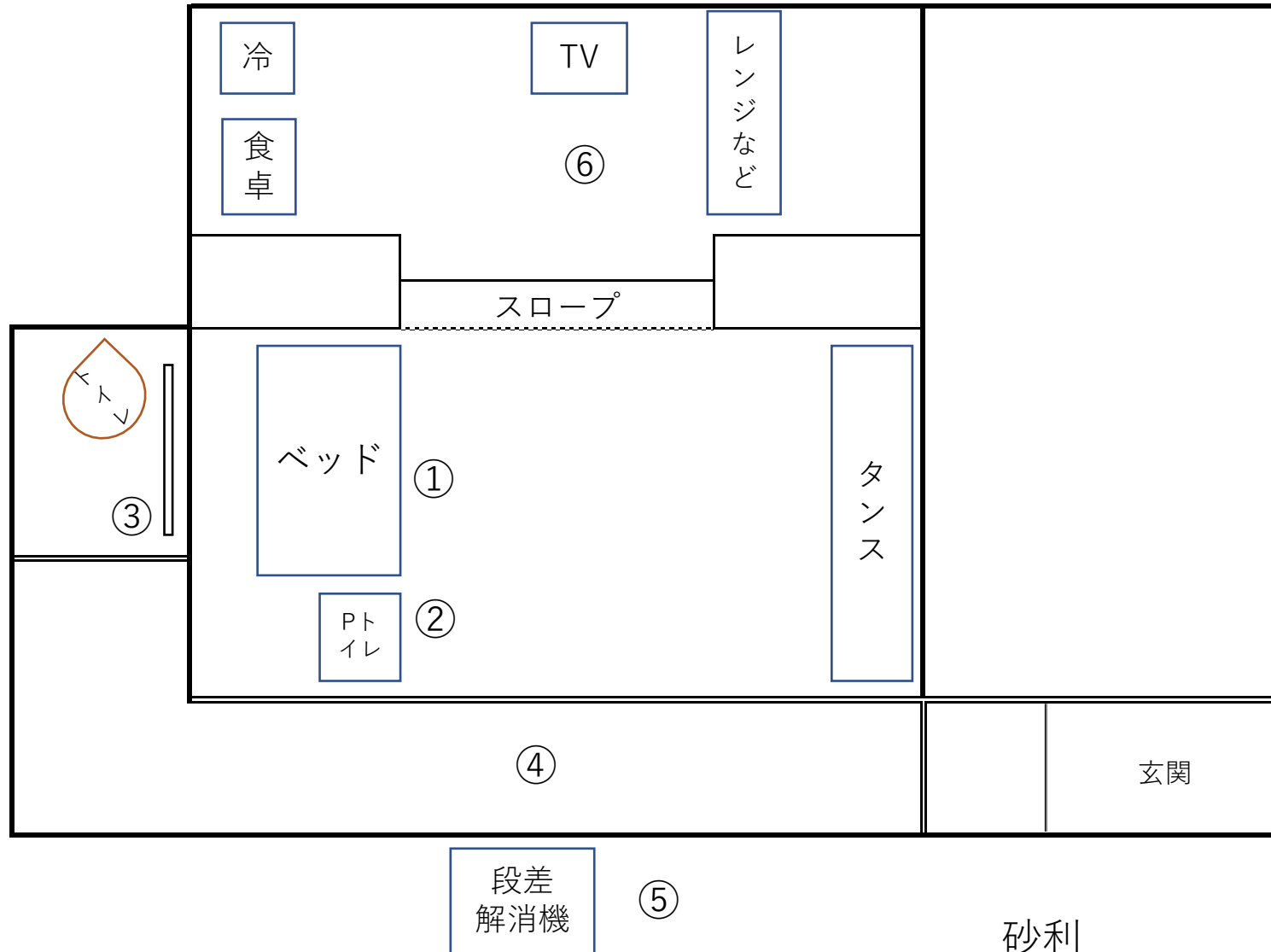


- ・ 次男（52歳）と二人暮らし
- ・ 家事は次男
- ・ 主に真ん中の棟で生活していたが、比較的段差の少ない左棟で生活することに
- ・ 夫は特養

- ・ 庭には砂利

- ・ 自宅は小高い丘の上であり周辺は坂道が多い

環境へのアプローチ（左棟）



- ①ベッド & 介助バー
- ②ポータブルトイレ（夜間使用）
- ③トイレの手すり設置（日中使用）
- ④トイレ・洗面所に行く縁側の底上げ（段差解消）
- ⑤縁側から外に出られるよう段差昇降機を設置
- ⑥簡単な調理ができるよう冷蔵庫と電子レンジを設置
- ⑦屋外に洗濯機を設置

退院後の暮らし



- ・デイケア週3回
- ・食事：デイケアのない日の昼食は配食サービス利用
朝食・夕食は同居の次男か本人が準備・片付け
- ・入浴：デイケア
- ・買い物：同居している次男
- ・掃除：充電式掃除機で本人
- ・洗濯：庭に設置した洗濯機まで洗濯物を運び、取り出して庭の物干しに干す
- ・外出：週1～2回
長男の車で夫との面会や買い物など

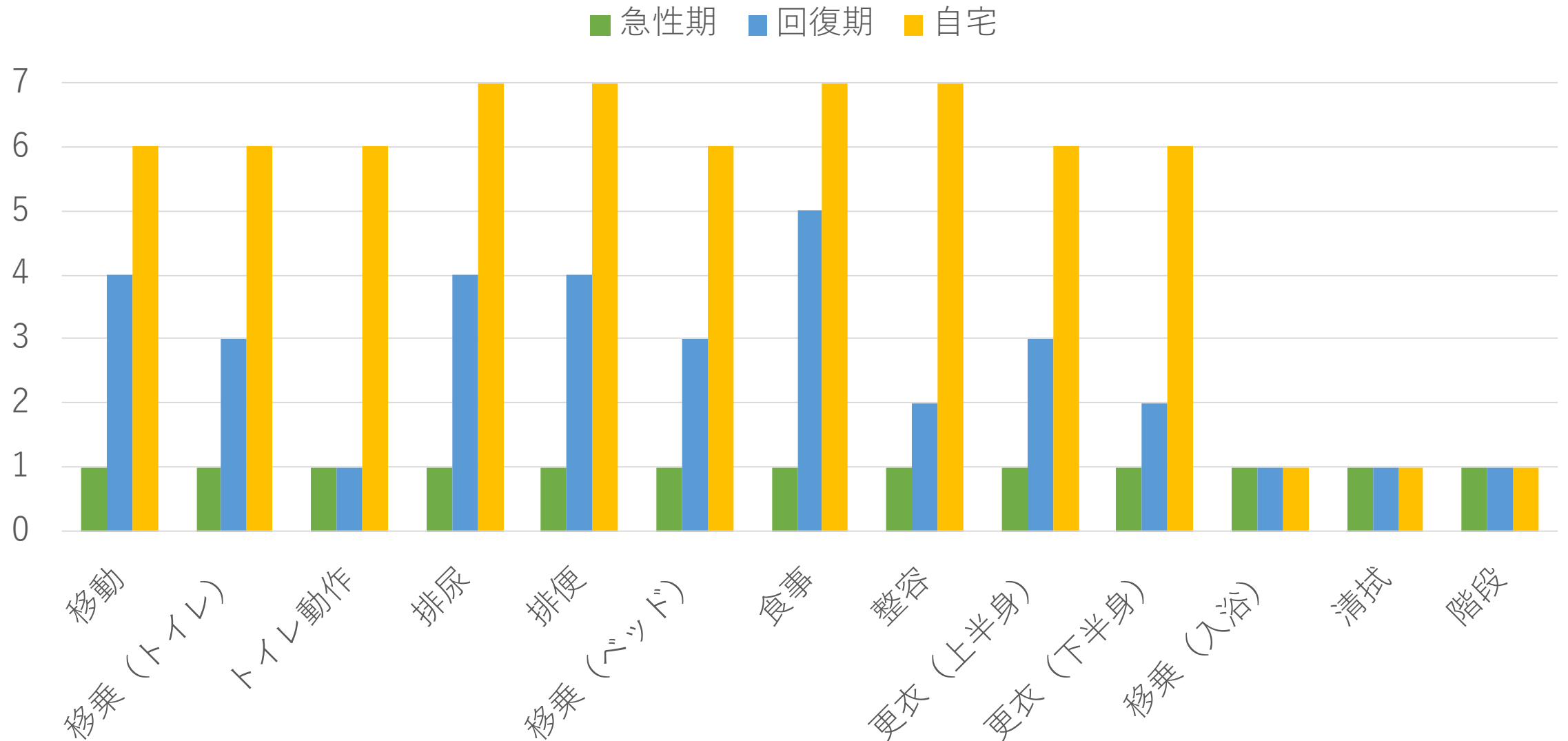
退所1ヶ月後

- 要介護 4
- Br.stage右 II - I - III 感覚障害・失語は軽度改善するも残存
左上下肢筋力MMT4-5
身体機能は退院時とほぼ変わらず
- 起き上がり・座位保持：自立 立位保持：手すり使用で自立
- FIM：移乗6 移動車いす（左上下肢使用） or 電動車いすで6
食事7 整容7 トイレ動作6 更衣上衣6下衣6
入浴1（デイケア） 排泄コントロール7

高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019

訪問リハと通所リハに関しては、ADLの悪化予防に対する効果が確実であり、行うことを推奨する。（推奨の強さ：強 エビデンスの確信性：高）

FIMの推移



環境因子へのアプローチによる変化

IADL

食事の準備・片付け・調理：毎日 庭仕事：週3 掃除・洗濯：週2
外出・買い物：週1～2（長男と）デイケアと合わせると週5

心理面

- 退院直後は何をするにも「できん」とネガティブな発言が多かったが、
できることが増え、ポジティブな発言が多くなった
→自己効力感が向上？
- 行動範囲が広がり、新たな目標（ボランティア活動再開）ができた

高血圧

問題なし

ADL, IADL自立
夫の分も含め家事全般
車の運転可

庭仕事

コーラスサークル
(月1回程度施設を訪問)

友人との旅行

夫と二人暮らし
持ち家 (段差多い)
坂道多い
外出時は自家用車使用
(スーパーまで車で15分)

79歳女性 150cm 45kg

趣味：庭の手入れ・コーラス・
美術館めぐり・旅行

左被殻 + 視床出血

Br.stage右II - I - III
感覚障害・失語は軽度改善
するも残存
左上下肢筋力MMT4-5 握
力13.5kg
失語（喚語困難）

FIM 介護老人保健施設

移乗5 移動：車いす自走で4
食事5（軟食） 整容5
トイレ動作2 更衣上衣5下衣3
清拭1 排泄コントロール6

介護老人保健施設入所

介護老人保健施設

79歳女性 150cm 45kg

趣味：庭の手入れ・コーラス・
美術館めぐり・旅行

左被殻 + 視床出血

Br.stage右II - I - III
感覚障害・失語は軽度改善
するも残存
左上下肢筋力MMT4-5 握
力13.5kg
失語（喚語困難）

FIM

移乗6 移動：車いす自走で6
食事7 整容7
トイレ動作6 更衣上衣6下衣6
清拭1 排泄コントロール7

庭仕事

買い物（長男と）
夫との面会（長男と）

自宅
福祉用具の導入
介護保険サービス利用
次男と二人暮らし
長男のサポート

79歳女性 150cm 45kg

趣味：庭の手入れ・コーラス・
美術館めぐり・旅行

結論

- 脳卒中者の移動手段として、電動車いすも有効
- 身体機能に変化はなくても、適切な時期に必要な人的・物的環境を調整することにより、ADL、IADLの自立を図ることができ、訪問介護などサービスの卒業が可能となる。
- 自立度が上がり、行動範囲が拡大することにより、自律性が高まり、幸福度の向上につながると考えられる。